１−３　中国語学中国文学

研究・教育活動の概要と特色

専攻分野・中国文学中国語学の歴史は、大正 14 年 7 月の勅令 264 号により、支那学第二講座としての中国文学講座の設置にはじまります。

中国文学は、数千年にわたる一貫した歴史を有し、その様式も詩詞、散文、韻文、文言小説、口語体の白話小説、元・明の戯曲、近現代小説と多岐にわたります。本専攻では、これら豊饒な中国文学の世界の全てを研究対象としています。のみならず、語彙・語法・音韻等中国語学も研究対象に含めています。これらはみな、正確な文献の読解をまってはじめてその研究の深化を図ることができるものです。そこで本専攻では、現代文・文言文を問わず、何よりも文献読解力の養成に力を入れています。学生・大学院生は、演習・研究演習・講読を通して読解力を高め、その基礎の上に立って自己の選んだテーマについて研究します。そのため本専攻の教員は、それぞれ独自の研究テーマを追究する専門性と同時に、中国文学中国語学全般に通暁する幅広い知識と見識が求められています。

また、学問の性格上、文献の読解には、辞書その他の工具書はもとより経・史・子・集の全てにわたる文献の利用が必須となっています。そのため本専攻は、中国思想中国哲学専攻や東洋史専攻と緊密な連携をとっており、これら二専攻との共同研究や読書会も盛んに行われています。本専攻の院生・学生は、これら二専攻の教員や院生・学生から研究に必要な種々の事柄についての指導・助言を受けることが可能であり、それが当専攻の伝統となっています。

Ⅰ　組織

１　教員数（2012 年 9 月末現在）

教授：1
准教授：1
講師：0
助教：0
教授：佐竹保子
准教授：馬暁地

２　在学生数（2012 年 9 月末現在）

学部 （2 年次以上）	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
15	0	5	6	2

３　修了生・卒業生数（2008～2012 年度）

年度	学部卒業者	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 （含満期退学者）
08	5	2	0
09	5	1	1
10	4	2	1
11	5	4	1
12	0	1	0
計	19	10	3

＊2012 年度は、9 月末までの数字

Ⅱ　過去 5 年間の組織としての研究・教育活動（2008～2012 年度）

１　博士学位授与

１－１　課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
08	0	0	0
09	0	0	0
10	0	0	0
11	1	1	2
12	0	0	0
計	1	1	2

＊2012 年度は、9 月末までの数字

１－２　博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

福山泰男、2011 年度、「建安文学の形成と展開」、教授・佐竹保子（主査）、教授・花登正宏、教授・三浦秀一

高戸聰、2011 年度、「中国神話における天と地との媒介として機能する神の研究」、教授・花登正宏（主査）、教授・佐竹保子、教授・三浦秀一、教授・川合安、准教授・齋藤智寛

２大学院生等による論文発表

２－１　論文数

年度	審査制学術誌 （学会誌等）	非審査制誌 （紀要等）	論文集 （単行本）	その他	計
08	1	1	1	0	3
09	2	1	1	0	4
10	3	0	1	0	4
11	1	1	0	0	2
12	2	1	0	1	4
計	9	4	3	1	17

＊2012 年度は 9 月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

２－２　口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
08	0	1	1	0	2
09	2	1	0	0	3
10	1	1	0	0	2
11	1	0	0	0	1
12	0	3	0	0	3
計	4	6	1	0	11

＊2012 年度は 9 月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

２−３　上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

（１）論文

高戸聰

「「明神」の役割と性格に関する一考察」『日本中国学会報』第 62 集 2010.

「山川の神々の性格について―「民則に狎れ、其の為(おこない)を蠲(いさぎよ)く」しない神々―」　『集刊東洋学』第 104 号　2010.

平良妙子

「琉球中山八景に関する記述の変遷について－冊封使録の記述を中心に」　岩田美喜・竹内拓史編『ポストコロニアル批評の諸相』　2008.

「潘栄の「中山八景記」について」『第 1 回琉中関係学術討論会論文集』2009.

「中国に伝わった「琉球」」上里賢一・高良倉吉・平良妙子編集『東アジアの文化と琉球・沖縄――琉球／沖縄・日本・中国・越南』所収、2010

「琉球中山八景「城嶽靈泉」考－清代の冊封使徐葆光が詠じた詩を中心に－」『集刊東洋学』第 106 号　2011.

「琉球中山八景試釋註(1)－「泉崎夜月」－」『国際琉球沖縄論集』2 号 2012.（掲載予定）

加賀沼伸江

「岑參「白雪歌 送武判官帰京」について――雪と梨花の比喩表現の系譜」『集刊東洋学』第 99 号　2008.

田島花野

「『楚辞』招魂篇と大招篇の四方描写について」『集刊東洋学』第 103 号 2010.

「『楚辞』「招魂」・「大招」の飲食描写」『集刊東洋学』　第 107 号 2012.

菅原尚樹

「『新刊全相平話武王伐紂書』における地理・地名について」　『東北大学中国語学文学論集』第 13 号　2008.

「「今～是也」考―「全相平話」の地理注釈に関する覚え書き―」　『集刊東洋学』第 101 号　2009.

「「大桑村」の人―『至治新刊全相平話三国志』に見える地名に関する一考察―」　『三国志研究』第 4 号　2009.

「『新刊全相平話楽毅図斉七国春秋後集』における地理・地名について」『文化』第 73 巻第一・二号　2009.

上原尉暢

「王褒「洞簫賦」における自然描写をめぐって」、『東北大学中国語学論集』第 16 号、2011.

「王褒「洞簫賦」をめぐって――音楽描写を中心に――」、『集刊東洋學』第 107 号、2012.

（２）口頭発表

高戸　聰

「「明神」の役割と性格に関する一考察」第 61 回日本中国学会大会 2009.10.10

「「民則」に狎れる神々」第 59 回東北中国学会大会　2010.5.30

「古代中国に於ける宗教職能者−巫と祝宗卜史−」第 7 回東北シャマニズム研究会　2010.7.1

平良妙子

「潘栄の「中山八景記」について」　第 1 回琉中関係学術討論会　2008.12.19

「中国が記した琉球」　《人の移動と２１世紀のグローバル社会》国際シンポジウム「コンタクトゾーンとしての島嶼における文化現象―沖縄と太平洋諸島／琉球と東アジア―」　2009.11.28

田島花野

「関于《招魂》与《大招》的四方描写」　中国楚辞学国際学術討論会及び中国屈原学会第 13 回大会　2010.10.31

「《楚辞》〈招魂〉的宮殿描写」　中国楚辞学国際学術討論会及び中国屈原学会第 14 回大会　2011.06.04

「『楚辞』「招魂」・「大招」の飲食描写」東北中国学会第 61 回大会 2012.05.27

上原尉暢

「王褒「聖主得賢臣頌」をめぐって――前漢代における辯論と上書と辞賦――」東山の会、2009.07.18

「王褒「洞簫賦」の音楽描写」、東北中国学会第 61 回大会　2012.05.27

程　遠

「銭穆の文学観の三要素：「文」・「道」・「人生」」東北中国学会第 61 回大会　2012.05.27

３　大学院生・学部生等の受賞状況

芳賀未来恵　　平成 21 年度総長賞受賞（2009 年度学部生）

４　日本学術振興会研究員採択状況

なし

５　留学・留学生受け入れ

５−１　大学院生・学部学生等の留学数

2008 年度　学部　計 2 名　国立中山大学（台湾）、国立台湾大学（台湾）
　　大学院　計 4 名　北京大学（中国）、廈門大学（中国）、
　　復旦大学（中国）、国立台湾大学（台湾）

2009 年度　学部　計 2 名　国立台湾大学（台湾）、復旦大学（中国）
　　大学院　計 1 名　復旦大学（中国）

2010 年度　学部　計 1 名　復旦大学（中国）
　　大学院　計 1 名　復旦大学（中国）

2011 年度　なし

2012 年度　学部　計 2 名　国立中興大学（台湾）

５−２　留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
08	4	2	6
09	4	3	7
10	5	1	6

11	4	3	7
12	0	6	6
計	17	15	32

６　社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
08	0	0	0
09	0	1	1
10	0	1	1
11	0	1	1
12	0	1	1
計	0	4	4

７　専攻分野出身の研究者・高度職業人（2008～2012 年度）

７－１　専攻分野出身の研究者

大山岩根、亜細亜大学、2009 年度より
矢田尚子、盛岡大学、2012 年度より

７－２　専攻分野出身の高度職業人

中高教員 3 名、
通訳 0 名、
ジャーナリスト 0 名、
出版社社員 1 名

８　客員研究員の受け入れ状況（2008～2012 年度）

国立彰化師範大学（台湾）教授　許麗芳氏　2009 年 1 月 10 日~2009 年 2 月 1 日

９　外国人研究者の受け入れ状況（2008～2012 年度）

シンガポール・南洋理工大学中文系副教授　衣若芬氏　2009 年 4 月 17 日
國立成功大学教授兼文学院院長　陳昌明氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学教授兼中文系主任　陳益源氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系教授　王三慶氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系教授　江建俊氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系教授　沈寶春氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系副教授　林耀潾氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系副教授　呉文璋氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系副教授　許長謨氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系助理教授　呉榮富氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系助理教授　蔡玫姿氏　2009 年 5 月 29 日
國立成功大学中文系助理教授　林幸慧氏　2009 年 5 月 29 日
ニュージーランド Otago 大学高級講師　趙暁環氏　2011 年 2 月 9 日

１０　刊行物（専攻分野刊行のもの）

『東北大学中国語学文学論集』（専門分野の機関誌）1996 より毎年刊行

１１　学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2008 年度
日本中国学会「学界展望」文学部門の作成担当
2009 年度
なし
2010 年度
なし
2011 年度
なし
2012 年度
なし

１２　専攻分野主催の研究会等活動状況（2008～2012 年度）

2008 年度
7 月 15 日 22 日　第 169 回中文談話会
8 月 3~5 日　夏合宿研究会
11 月 15 日　第 170 回中文談話会
2009 年度
7 月 21 日 28 日　第 171 回・第 172 回中文談話会
8 月 3~5 日　夏合宿研究会
11 月 14 日　第 173 回中文談話会
2010 年度
7 月 27 日　2010 年度第一回中国文学談話会
8 月 2~4 日　夏合宿研究会
11 月 6 日　2010 年度第二回中国文学談話会
2011 年度
8 月 6 日　2011 年度第一回中国文学談話会
10 月 1~2 日　夏合宿研究会
11 月 12 日　2011 年度第二回中国文学談話会
2012 年度
8 月 6 日　2012 年度第一回中国文学談話会
8 月 4~5 日　夏合宿研究会

１３　組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

学部教育については、基礎的学力を涵養するために、他の専攻分野同様に履修モデルを作り、『学生便覧』を通じて学部生に供している。またとくに、現代中国語運用能力と古典漢文読解能力とを高めるために、助手・助教および TA による学習会を設けている。現代中国語については、金･土･日を除く毎日正午の 20 分間を当てている。元来 2 年生の 1 学期（3 セメ）のみを対象としたものであるが、近年 3 年生や 4 年生も参加を希望したり、また、2 学期（4 セメ）も続けて会話練習をしてほしいとの要請があったりして、指導担当者が嬉しい悲鳴をあげている。古典漢文は隔週 2 時間ほどで、これにも 2 年生から 4 年生までが自発的に参加している。4 年生の卒業論文指導は、スタッフ全員が随時のオフィス･アワーで助言しているほか、夏休み開始前後に「卒論構想発表会」を、秋に「卒論中間発表会」を設け、大学院生や 2･3 年生が参加して助言や質問を行っている。

大学院教育については、随時のオフィス･アワーや「中国語学中国文学研究演習」（中国語学史中国文学史上の諸問題）で、スタッフが助言･指導を行っている。さらに前期課程院生には、夏合宿研究会にて自ら読みたい現代文と古典文一件ずつの輪読会を主催させている。加えて当専攻分野は、隣接する専攻分野である中国思想中国哲学・東洋史

の関係者らとともに中国文史哲研究会を組織し、学術雑誌『集刊東洋学』を年 2 回発行しており、おもに後期課程院生がその運営に当たっているが、前期課程院生には、該誌に登載された中国語学中国文学関係の論文の書評を担当させ、年 2 回の「『集刊東洋学』合評会」でそれを発表してもらっている。書評の作成によって、論文の読み方とその規範的な書き方を習得させるためである。また、後期課程院生については、学会における年 1 回程度の口頭発表と少なくとも年 1 回の論文作成およびその公表を要請しており、この目標はかなりの程度達成されている。論文は前掲の『集刊東洋学』のほか、『日本中国学会報』『中唐文学会報』『文化』『東北大学中国語学文学論集』等に登載されている。

学部生・院生にはともに、留学を勧めている。ここ数年はたまたま学部生の留学が多かったが、2008 年度には後期課程院生が北京大学、厦門大学、復旦大学、國立台湾大学に、2009 年度から 2010 年度にかけては復旦大学に、それぞれ留学を果たしている。すべての院生が、留学先政府からの奨学金を獲得しており、継続獲得により、留学の延長を決める者も多い。

研究活動については、本学の他部局である東北アジア研究センター・大学院環境科学研究科・大学院国際文化研究科、および他専攻分野である中国思想中国哲学・東洋史等のスタッフとの共同研究が、東北アジア研究センター教授を中心とした特定領域研究「東アジア出版文化の研究」として科研費がつき、2001 年度から数年間、当該共同研究に従事していた。さらに「『世説新語』読書会」「『道教義枢』読書会」があり、これらは、当専攻分野と東洋史や中国思想中国哲学の教員、および三専攻分野の院生、さらには東北アジアセンターの院生等が参加する、専攻縦断型の研究会になっている。また、研究の国際交流を図るために、中国・台湾から研究者を招いて講演会や共同研究を推進している。

社会貢献や学会活動については、複数のスタッフが各種委員や講演会講師、学会の会長・理事・評議員等をつとめている。2007 年度および 2008 年度には日本中国学会から学会展望文学部門のデータベース作成と展望批評を委嘱され、担当した。

Ⅲ　教員の研究活動（2008～2012 年度）

１　教員による論文発表等

１－１　論文

花登正宏「収録字の配列より考察する中国辞書史の構想」、『東北大学中国語学文学論集』第 13 号、東北大学中国文学研究会、1-24 頁、2008 年 11 月

花登正宏「編纂《古今韻会挙要》的目的」、『中国伝統文化与元代文献国際学術研討会会議論文集』、北京師範大学古籍与伝統文化研究院編、中華書局、160-168 頁、2009 年 3 月

花登正宏「我が国における『洪武正韻彙編』の受容」、『學林』54・55 合併号、立命館大學中國藝文研究會、2011 年 12 月

佐竹保子「六朝の宮廷文学」、『王朝文学と東アジアの宮廷文学』、仁平道明編、竹林舎、182-207 頁、2008 年 5 月

佐竹保子「『世説新語』の「賞」」、『六朝学術学会報』第 10 集、六朝学術学会、107-134 頁、2009 年 3 月

佐竹保子「李善注「事無高翫、而情之所賞、即以爲美」考――謝霊運「從斤竹澗越嶺溪行」詩の「情」の解釈に関わって」、『集刊東洋学』第 101 号、中国文史哲研究会、21-42 頁、2009 年 5 月

佐竹保子「日本近半世紀「竹林七賢」研究状況」、江建俊主編『竹林學的形成與域外流播』、里仁書局、49-101 頁、2010 年 4 月 10 日

佐竹保子・『世説新語』劉孝標注研究会「『世説新語』劉孝標注訳注稿（一）」、『東北大学中国語学文学論集』第 15 号、東北大学中国文学研究会、1-37 頁、2010 年 11

月
佐竹保子「謝霊運詩「心賞」考」、『集刊東洋学』第 105 号、中国文史哲研究会、21-42 頁、2011 年 6 月
佐竹保子・『世説新語』劉孝標注研究会「『世説新語』劉孝標注訳注稿（二）」、『東北大学中国語学文学論集』第 16 号、東北大学中国文学研究会、41~56 頁、2011 年 11 月
馬暁地「古人的誤讀與卓識—也説“許渾千首濕”」、『東北大学中国語学文学論集』第 13 号、東北大学中国文学研究会、25-46 頁、2008 年 11 月
馬暁地「唐人的河湟之思」、『東北大学中国語学文学論集』第 14 号、東北大学中国文学研究会、17-41 頁、2009 年 11 月
馬暁地「半律之長消」、『東北大学中国語学文学論集』第 15 号、東北大学中国文学研究会、39-63 頁、2010 年 11 月
矢田尚子「楚辞「卜居」における鄭詹尹の台詞について」、『東北大学中国語学文学論集』第 14 号、東北大学中国文学研究会、1-16 頁、2009 年 11 月
矢田尚子「笑う教示者—楚辞「漁父」の解釈をめぐって—」、『集刊東洋学』第 104 号、中国文史哲研究会、21-42 頁、2010 年 10 月
矢田尚子「「無病の呻吟」—楚辞「七諫」以下の五作品について—」、『東北大学中国語学文学論集』16 号、東北大学中国文学研究会、7-22 頁、2011 年 11 月
矢田尚子「唐代における宮女の男装について」、『着衣する身体と女性の周縁化』武田佐知子編、思文閣出版、200-214 頁、2012 年 4 月

１−２　著書・編著

１−３　翻訳、書評、解説、辞典項目等

花登正宏
「漢字の魅力と魔力」、『世界の言語』、東北大学出版会、2008.
佐竹保子
「学界展望（文学）」、『日本中国学会報』第 60 集、日本中国学会、2008.
「『随園食単』紹介」、『まなびの杜』第 45 号、東北大学、2008.
『魏晋六朝文学における美と聖性』（平成 19 年度~20 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）研究成果報告書　課題番号 19520287）、1-16 頁、2009 年 3 月
「『隋書』音楽志訳注稿（三）」（川合安氏・大形徹氏・柳川順子氏と、分担執筆）、『中国学研究論集』第 22 号、広島中国文学会、担当部分は 31-48 頁、2009 年 4 月
「『隋書』音楽志訳注稿（五）」（林香奈氏・川合安氏・大形徹氏・柳川順子氏・長谷部剛氏・佐藤大志氏と、分担執筆）、『中国学研究論集』第 26 号、広島中国文学会、担当部分は 36-46 頁、2011 年 4 月

１−４　口頭発表

花登正宏「字書・音書・義書」、単独、「琉球官話と中国のことば」琉球大学法文学部、2008 年 6 月 28 日
佐竹保子「謝靈運山水詩中的「賞」與「情」」、単独、「重探自然 人文傳統與文人生活國際學術研討會」、國立台南藝術大學音像大樓／台湾嘉義市、2008 年 6 月 25 日
佐竹保子「謝霊運山水詩についてつけ加えたい二、三のこと」、単独、「日本中国学会」第 61 回大会、文教大学／越谷市、2009 年 10 月 10 日
佐竹保子「日本近半世紀『竹林七賢』研究状況」、単独、「竹林文化的形成、流播與影響」学術研究會、國立成功大學中文系館一楼演講庁／台湾台南市、2009 年 10 月

17 日（ただし欠席したので、成功大學教員が論文を代読）

佐竹保子「李善注「事無高翫、而情之所賞、即以爲美」考」、単独、台湾中央研究院訪問学者講演会、台湾中央研究院文哲研究所 2 階会議室／台湾台北市、2010 年 9 月 28 日

佐竹保子「日本 1937 年至 2009 年阮籍嵇康研究状況」、単独、北京大学国際漢学家講演会、北京大学化学北楼／中国北京市、2011 年 9 月 8 日

矢田尚子「关于《楚辞・卜居》中郑詹尹的台词」、楚辞学国際学術討論会暨中国屈原学会第 13 届年会、2009 年 10 月 31 日

矢田尚子「笑う教示者―楚辞「漁父」の解釈をめぐって―」、東北中国学会第 59 回大会研究発表、2010 年 5 月 30 日

矢田尚子「孔子与屈原－汉代屈原评价之变迁－」、楚辞学国際学術討論会暨中国屈原学会第 14 届年会、金沙大酒店／中国福建省東山県、2011 年 6 月 5 日

２　教員の受賞歴（2008～2012 年度）

なし

Ⅳ　教員による競争的資金獲得（2008～2012 年度）

（１）科学研究費補助金

2008 年度

花登正宏「収録字の配列方法より考察した中国辞書史の研究」（基盤研究（C）、代表、208 万円）

佐竹保子「南北朝楽府の多角的研究」（基盤研究（B）、分担、分担金なし）

佐竹保子「魏晋六朝文学における美と聖性」（基盤研究（C）、代表、52 万円）

2009 年度

花登正宏「収録字の配列方法より考察した中国辞書史の研究」（基盤研究（C）、代表、91 万円）

佐竹保子「南北朝楽府の多角的研究」（基盤研究（B）、分担、分担金なし）

2010 年度

佐竹保子「南北朝楽府の多角的研究」（基盤研究（B）、分担、分担金なし）

佐竹保子「『世説新語』劉孝標注の漢魏晋六朝文献に関する総合的研究」（課題番号 22320068、基盤研究（B）、代表、416 万円）

2011 年度

佐竹保子「『世説新語』劉孝標注の漢魏晋六朝文献に関する総合的研究」（課題番号 22320068、基盤研究（B）、代表、169 万円）

2012 年度

佐竹保子「『世説新語』劉孝標注の漢魏晋六朝文献に関する総合的研究」（課題番号 22320068、基盤研究（B）、代表、156 万円）

佐竹保子「隋唐楽府文学の総合的研究」（課題番号 24320070、基盤研究（B）、分担、分担金 75,000 円）

（２）その他（総長裁量経費、研究科長裁量経費、受託研究費等）

なし

Ⅴ　教員による社会貢献（2008～2012 年度）

花登正宏

中国語検定協会評議員　2002 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日

日本学術会議連携会員　2006 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日

佐竹保子

東北大学文学研究科県民講座「県民のための文学サロン」にて「李賀という詩人―芥川龍之介や沢木耕太郎の愛した夭折の鬼才」、東北大学文教大講義室、2008 年 9 月 20 日

東北アジア研究センタープロジェクト部門プロジェクト研究ユニット評価委員、2008 年 4 月 1 日~2010 年 3 月 31 日

第八期有備館講座「学問の楽しさ」にて「伝統中国学と近代的文学研究のはざまで」、岩出山スコーレハウス、2009 年 8 月 22 日

宮城県民大学（兼・教員免許更新研修）「人間理解の方法論：文・史・哲・心　それぞれの流儀」にて「「情」という詩語について～その解釈に見る人間理解」、文学部第一講義室、2009 年 9 月 17 日

みやぎ霊園文化講演会「ふれあいゼミナール 2010　第 12 回」にて「中国古典“陶淵明”漢詩の世界」、仙台市榴ヶ岡市民センター、2010 年 5 月 8 日

独立行政法人日本学術振興会　特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員　2008 年 8 月 1 日～2010 年 7 月 31 日

東北大学植物園公開市民講座「ウメ、モモ、サクラの木の文化」にて「中国文学の中の梅と桃」、東北大学植物園講義室、2010 年 10 月 9 日

第十期有備館講座「男と女」にて「李清照と趙明誠」、岩出山スコーレハウス、2011 年 6 月 18 日

栃木県立宇都宮女子高等学校の依頼にて模擬授業「古典中国最高の女流詩人　李清照の生涯と詞」、栃木県立宇都宮女子高等学校、2011 年 10 月 24 日

宮城県吟道連盟漢詩講座「唐詩の魅力――李白に因る「杜甫」の誕生――」、仙台市シルバーセンター 7 階第 1 研修室、2011 年 12 月 11 日

宮城県吟道連盟講座「『詩経』を読む」、仙台メディアテーク 7 階スタジオシアター、2012 年 6 月 22 日

馬暁地

仙台市日中友好協会主催中国語講演会の審査委員長または審査委員、2008 年度～2012 年度

矢田尚子

東北学院大学アジア流域文化研究所「新時代における日中韓周縁域社会の宗教文化構造研究プロジェクト」公開講演会、東北学院大学土樋キャンパス 6 号館 621 教室、2012 年 7 月 14 日

Ⅵ　教員による学会役員等の引き受け状況（2008～2012 年度）

花登正宏

東北中国学会会長（2010 年 5 月まで）

中国文史哲研究会会長（2012 年 3 月まで）

日本中国学会理事

日本中国語学会理事

東方学会地区委員

佐竹保子

六朝学術学会評議員

中国文史哲研究会常任編集顧問

中国社会文化学会評議員
日本道教学会評議員
日本中国学会評議員
東北中国学会理事

Ⅶ　教員の教育活動

（１）学内授業担当（2012 年度）

１　大学院授業担当

佐竹保子
中国語学中国文学研究演習ＩⅡ　『文選』読解
中国語学中国文学研究演習ＩⅡ　中国語学史中国文学史上の諸問題
課題研究

馬暁地
人文社会科学研究
中国語学中国文学特論ＩⅡ　唐代叙事詩
中国語学中国文学研究演習ＩⅡ　当代文学研究

谷口洋　講師（非常勤講師・奈良女子大学人間文化研究科）
中国語学中国文学特論Ⅲ　漢魏六朝文学における「作者」と「作品」

西上勝　講師（非常勤講師・山形大学人文学部）
中国語学中国文学研究演習ＩⅡ　中国近現代文読解

２　学部授業担当

佐竹保子
中国文学概論　中国文学史（オモテ文学史）
中国文学概論　中国の恋愛詩（ウラ文学史）
中国文学基礎講読　中国語実用文法研究
中国文学演習　『文選』読解
人文社会科学総論（分担）　中国文学紹介

馬暁地
中国語基礎演習　中級会話
中国文学各論　唐代叙事詩
中国文学演習　当代文学研究

谷口洋　講師（非常勤講師・奈良女子大学人間文化研究科）
中国文学各論　漢魏六朝文学における「作者」と「作品」

西上勝　講師（非常勤講師・山形大学人文学部）
中国文学演習　中国近現代文読解

３　共通科目・全学科目授業担当

馬暁地
中国語　　初級中国語
専門中国語　　中級中国語
展開中国語

（２）他大学への出講（2008～2012 年度）

花登正宏
大東文化大学大学院文学研究科（2005 年度～2008 年度）
名古屋大学大学院文学研究科（2011 年度）

佐竹保子

宮城教育大学教育学部（2010 年度～2011 年度）
名古屋大学大学院文学研究科（2012 年度）
矢田尚子
宮城教育大学教育学部（2010 年度～2011 年度）
宮城学院女子大学（2010 年度～2011 年度）